

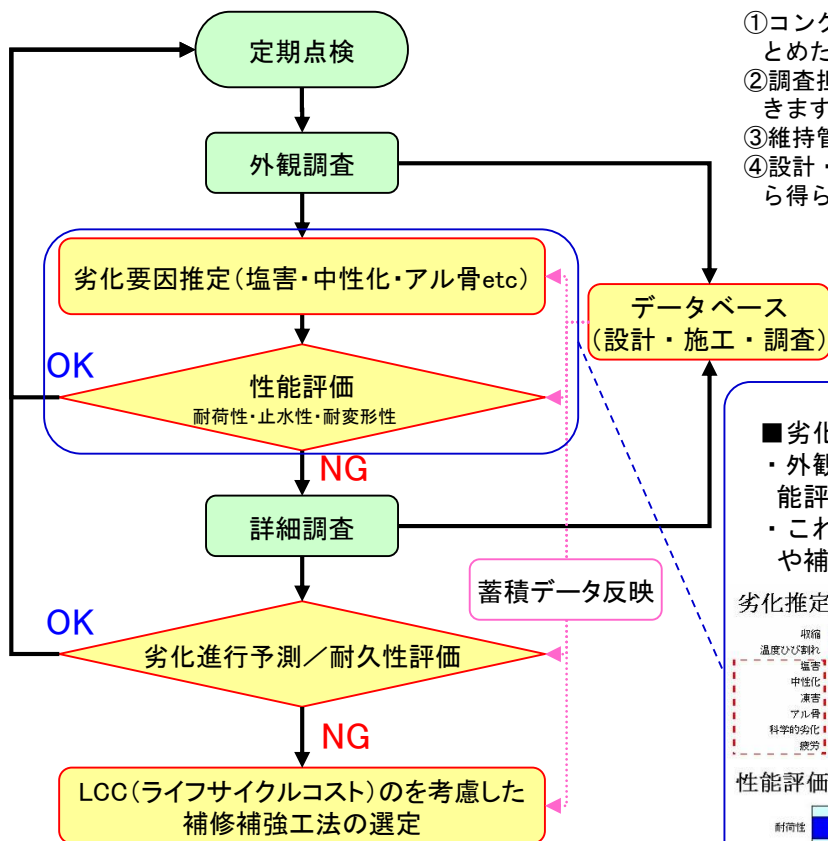
コンクリート構造物の維持管理システム

MASYCS (Maintenance System for Concrete Structure)

MASYCSは、設計・施工・調査データを管理し、それらのデータを用いて、劣化要因の把握・性能評価と最適な補修時期・補修工法の選定を行うシステムです。

システム概要

本システムは、下記フローの内、黄色で着色した項目を構成します。



- ①コンクリートの品質に影響する要因をアルゴリズムにまとめた、維持管理エキスパートシステムです。
- ②調査担当者の知識に依存せず、客観的に品質を評価できます。
- ③維持管理技術者の不足を補えます。
- ④設計・施工・調査データなどの大量のデータとそれから得られた性能評価等をデータベース化します。

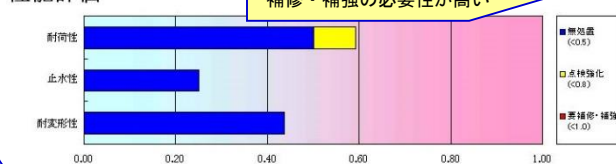
■劣化要因推定/性能評価

- ・外観調査データを基に、劣化要因の推定と性能評価を行います。
- ・これらの予測を基に、必要に応じて詳細調査や補修補強の計画を行います。

劣化推定要因



性能評価



ライフサイクルコストの算定

- ・劣化進行予測により補修・補強が必要と判定された構造物（部材）については、ライフサイクルコストの算定を行い、維持管理計画を立案します。
- ・塩害および中性化の劣化進行予測を基に、維持管理費用を最小にできる補修工法とその適用時期が得られます。

